

# アート すまいる

これってあり？

# サ ク タ ロ ウ と ま



イラストレーション / 山口マオ

解釈の  
快楽

開館時間 | 9時～17時 (入館は16時30分まで)  
休館日 | 水曜日  
会場 | 2階展示室・3階オープンギャラリー  
観覧料 | 一般400円 ※朔太郎展示室もご覧になれます。  
※高校生以下無料  
※3階オープンギャラリーは無料  
※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料  
観覧無料の日 | 7/28 [土] (展覧会初日)、9/1 [土] (開館記念日)、  
9/8 [土]、10/8 [月・祝] (記念イベント開催日)、  
10/6 [土]・7 [日] (前橋まつり)

2018年 7/28<sup>(土)</sup> ~ 10/14<sup>(日)</sup>



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

これってあり？

## 萩原朔太郎

の詩は、これまで後世の文学だけでなく、アート作品にも影響を与えてきました。

本展では、朔太郎の詩やその他の作品にインスパイアされて作られたアート作品を紹介します。朔太郎作品を現代のアーティストたちがどのように受け止め、解釈し、表現しているかをご覧くださいと、文学とアートの出会いによって生じる豊かさと、今後の展開の可能性を考えます。

### 展示作家

有吉達宏 (アニメーション)

大橋 忍 (切り絵)

岡崎恵理 (アニメーション)

折笠 良 (アニメーション)

川崎継子 (コラージュ)

carry 音 (曲、歌、ギター)

小松 透 (写真)

世田谷ピンポンズ

(曲、歌、ギター)

高橋加代子 (版画)

ティム・サトミ (刺繍)

勅使川原三郎 (KARAS)

(ダンス)

テトツチト (渡邊庸子) (陶)

林 麻依子 (陶)

平山利男 (写真)

山口マオ (版画、ドローイング)

吉増剛造 (映像、写真)

Rinn (曲、歌、アコーディオン)

### ● 学芸員による展示解説

8月11日(土・祝)、9月1日(土)、10月6日(土)

各日とも13時30分～14時30分

○観覧券をご購入の上、2階展示室にお集まりください。

(※9月1日、10月6日は観覧無料)

# サクタロウを アートする

— 解釈の快楽 —



岡崎恵理「動物園にて」2018年 (アニメーション)

ティム・サトミ「ばくてりやの世界」2018年 (刺繍)  
photo by Narumi Shimose



### ● 記念イベント

#### 「こんとらぶんとコンサート —サクタロウをうたう—

出演 | 世田谷ピンポンズ / Rinn / carry 音

日時 | 9月8日(土) 16時～

会場 | 1階ロビー

参加費  
無料

#### 講演「サクタロウ・利根川・イカホ」

出演 | 吉増剛造 (詩人)

日時 | 10月8日(月・祝) 14時～ (開場13時30分)

会場 | 3階ホール

\*8月25日(土) 午前9時より電話で受付開始

(027-235-8011)

先着100人  
参加費無料



撮影 / 吉原洋一



小松透「浜辺」2018年 (写真)

### ● 開館記念コンサート

#### 「ぽつねん 中也、朔太郎、俊太郎を歌う」

先着100人

出演 | 孤独の発明 (原田 節 & 谷川 賢作)

日時 | 9月17日(月・祝) 14時～ (開場13時30分)

18時～ (開場17時30分)

会場 | 3階ホール

\*8月4日(土) 午前9時より電話で受付開始

(027-235-8011)

\*当日は観覧券をご購入の上、ホールにお集まりください。



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

## 前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10

TEL: 027-235-8011 FAX: 027-235-8512

http://www.maebashibungakukan.jp/

### 交通案内

**公共機関** JR 前橋駅から徒歩約20分  
上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約5分

**自動車** 関越自動車道 前橋ICから  
車で約15分

●市営パーク城東のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。



### アーツ前橋展覧会情報

横浜美術館コレクション

昭和の肖像 — 写真でたどる「昭和」のひとと歴史

会期 | 2018年7月6日(金)～9月3日(月)

TEL | 027-230-1144

https://www.artsmaebashi.jp/